

# 高槻安満遺跡ハイキング案内



担当 5 班

阪急高槻駅や JR 高槻駅から京都方面に向かってすぐ北側に低い山が見えます。安満山です。その中腹に土色の丘があります。そこが安満宮山古墳です。平成 9 年の発掘調査で、木棺の副葬品から 5 枚の銅鏡が見つかりました。中国の魏の年号「青龍三年(235 年)」の銘のある鏡など 3 枚が、239 年魏から卑弥呼に贈られた銅鏡 100 枚の内の 3 枚だと考えられています。現在「青龍三年の丘」と名付けられています。大阪平野を望むスポットでもあります。また、安満山は桜の名所でもあります。

その安満山の麓、阪急と JR 線路に挟まれたところが安満遺跡です。弥生文化が畿内に流入したと考えられた所ですが、防災雨水貯蓄施設建設に伴い、平成 26 年の発掘調査で弥生時代の環濠集落、水田、墓域、弥生人の足跡などが発掘されました。調査後、令和 3 年高槻市安満遺跡公園として開園、子どもたち、家族連れ、若者たちの憩いの場所となっています。

◆ 日 時 2024 年 4 月 5 日 (金) ◆ 集合時刻 午前 10 時

◆ 集合場所 JR 高槻駅中央改札口を出て、北側下へ。  
トイレあります。

◆ 行 程 (約 7 km)

JR 高槻駅 10:10 ⇒ 徒歩 ⇒ 能因法師墳 ⇒ 磐手橋 11:20

⇒ 古墳登り口でトイレ休憩 12:00 ⇒ 安満宮山古墳 青龍三年の丘 ⇒

昼 食 12:30 (弥生の丘・日時計公園) 安満山下山 ⇒ 磐手橋 ⇒

14:20 安満遺跡公園 見学・自由散策 (40 分)

集合解散 (西正門口 15:00) 阪急高槻市駅へ 15 分・JR 高槻駅 へ 20 分



◆ 持ち物 飲み物、弁当、雨具、他。

◆ 当日の降水確率 50% 以上で中止します。中止の場合はそら全体メールでお知らせします。

## 能因法師

平安時代の歌人 高槻古曾部に住む

「嵐吹く三室の山の紅葉葉は

龍田の川の錦なりけり」

(後拾遺和歌集)



能因法師墳



青龍三年の丘